埼玉県議会
公明党議員団
県議会ニュース

県政につなぐ。
未来につなぐ。

埼玉県議会議員

深谷けんじ

2021年
1月
第7号

昨年12月22日 埼玉医科大学総合医療センターの仮設プレハブ病棟建設現場を堤晴彦病院長と視察

昨年12月15日 新型コロナ対策特別委員会で論戦

深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 46歳
川越市出身
東京農業大学第三高等学校卒
創価大学文学部社会学科卒
公明党県企業局長・青年局次長
福祉保健医療委員会 委員
自然再生・循環社会対策特別委員会 委員

新型コロナ対策 医療現場の声 県政に

令和3年も**深谷けんじ**は、皆様の声を県政につなぎ、現場第一主義で働いてまいります。

埼玉医科大学総合医療センター（川越市）では、医療スタッフの皆様が一丸となって新型コロナウイルス感染症に立ち向かい、診療にあたってくださっています。川越市民・県民の命を守る砦です。不眠不休で奮闘する医師・看護師の皆様に、感謝の思いが尽きません。

深谷けんじはこれまで、同センターを何度も訪問し、堤晴彦病院長をはじめ、医療スタッフの皆様の声を伺ってまいりました。こうしたなか、県内の医療機関がコロナ病床確保のために行った改修工事費への支援がない実状を知り、**深谷けんじが委員会での質疑等で強く要望。その結果、改修工事費への支援が決定しました。**

昨年11月以降の感染者急増により、重症患者が増加。同センターのコロナ病床は急激に逼迫しました。**深谷けんじ**はすぐさま訪問し、最前線の声を伺いました。コロナ病床確保数や使用率といった数値と医療現場の状況には乖離があることを痛感。すでに受入れ能力を超えている可能性もあり、危機感を抱きました。昨年12月に開催された福祉保健医療委員会や新型コロナ対策特別委員会では、医療現場の声をもとに徹底した論戦を展開。医療機関によって受け入れ患者数の偏りがないように、分散入院に努めることを要望。同時に、透析患者等に対応可能な病床確保を急ぐよう求めました。また、日々患者を診療している最前線の医師の声が届く専門家会議の設置も提案。専用医療施設（仮設）の建設にあたっては、医療スタッフの確保等の支援を強く求めました。**深谷けんじ**は医療最前線の声をもとに、医療機関・医療従事者へのさらなる支援を求め、県政を動かしていきます。

令和2年12月定例会では、公明党議員団から橋詰昌児議員が一般質問に登壇しました。知事ら特別職と県職員の期末手当を減額する条例改正、県立4病院を地方独立行政法人に移行するための条例など65議案が可決。成立した約19億4千万円の補正予算では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、飲食店等（さいたま市大宮区・川口市・越谷市）への営業時間短縮要請に伴う協力金が盛り込まれました。

1月7日には、緊急事態宣言の発出を受け1月臨時議会が開催。営業時間短縮要請が、県内飲食店へ拡大されることに伴う協力金を盛り込んだ約582億円の補正予算が可決しました。

もし発熱したら受診を! 新型コロナ インフルエンザ 両方の診療・検査ができます

発熱した場合に迷わず地域の医療機関等で受診することができるよう、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療を行うことができる医療機関を「埼玉県指定 診療・検査医療機関」として指定、公表しています。医療機関をお探しの方は、注意事項をよくお読みになってから検索システムをご利用ください。

注意事項（医療現場の混乱を防ぐため、必ずお読みください）

- 他の症状の患者と接触しないように発熱患者専用の受付時間を設定しています。**必ず事前に電話連絡をしてから受診**してください。
  ※事前連絡をしないで医療機関に行っても、受診できないことがあります。
- 検査は、医師が必要と認めた場合に限り行われ、**漠然とした不安**がある、**陰性証明がほしい**という理由での**検査はできません**。
- **診療のみを行い、検査は連携する医療機関等へ引継ぐものも含んでおります。**
- 受診の際は**マスクを着用**し、**医療機関の指示に従って**ください。**公共交通機関の利用を控えて**受診してください。

パソコン・スマートフォンから

埼玉県指定診療・検査医療機関検索システム

https://flu-search.pref.saitama.lg.jp/

お電話・FAXから

ホームページが見られないなどで、指定医療機関の連絡先を電話で確認したいときは、以下の相談窓口へご連絡ください。

受診先の確認・受診を迷う場合《埼玉県受診・相談センター》

048-762-8026 FAX **048-816-5801**

受付時間 午前9時～午後5時30分月～土(祝日含む)

深谷質問により 県管理河川の水位計・監視カメラを大幅に増設！システムも強化！

令和元年12月定例会一般質問で**深谷けんじ**は、令和元年東日本台風（台風第19号）による甚大な被害を踏まえ、河川監視体制の強化を強く求めました。また、台風上陸時に多くの県民の皆様から、「埼玉県川の防災情報ウェブサイトに配信されていた河川のカメラ画像が見れない」、「夜は暗くてよく見えない」との声が多く寄せられたことから、システムの強化についても訴えました。

具体的には、

❶危機管理型水位計の大幅な増設
❷河川監視カメラの増設、夜間監視能力の強化
❸川の防災情報ウェブサイトへのアクセス集中に対応したシステムの強化

の3点を強く求めました。その後も粘り強く県へ申し入れを続けた結果、今年度、監視体制が大幅に強化されました。

深谷けんじは、「防災・減災対策を県政の主流に」との政治信念で、県民の皆様の生命を守る施策を今後も推進してまいります。

1 水位計・カメラの大幅な増設

危機管理型水位計

令和2年度 **20**箇所設置中

危機管理型水位計設置例

30個所 ▶ 合計**50**個所

河川監視カメラ（簡易型）

令和2年度 **21**箇所設置中

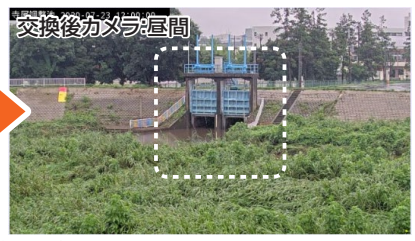
簡易型カメラ設置例

84個所 ▶ 合計**105**個所

2 カメラの夜間監視能力強化 令和2年度 5箇所機器交換

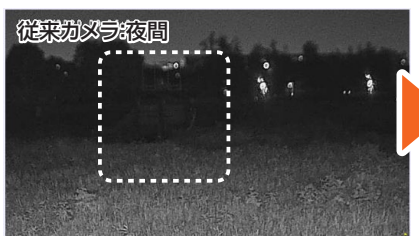
例:寺尾調整池外観測局

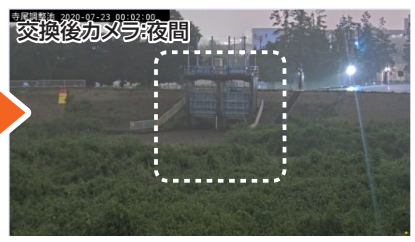
昼間



従来カメラに比べ解像度が向上し、細部まで詳細に確認できます。

夜間





夜間でも撮影対象が詳細に記録されています。周囲の光源による白飛びも抑制されます。

3 川の防災情報ウェブサイトへのアクセス集中に対応したシステムの強化

従来は約6万アクセスを超えると障害発生

▶約48万アクセスまで対応可能

（昨年の台風第19号の際は6万を超えるアクセスがありました）

埼玉県 川の防災情報

http://suibo.saitama-river.info/

決算特別委員会 現場の声をもとに活発な論戦交わす

令和元年度の事業を審査する決算特別委員会が昨年10月20日を皮切りに開催。各部局別に審議され、12月定例会本会議にて報告されました。**深谷けんじ**は、各種団体の皆様との意見交換や地元地域など現場を動くなかで伺った声をもとに、執行部と活発な論戦を交わしました。

下記は令和元年度事業に対し、委員会で多くの質問をした上で、**深谷けんじ**が「改善又は検討を要する事項」として意見・提言をした内容です。

改善又は検討を要する事項

企画財政部
地籍調査事業の進捗率の向上に努めること。

総務部
建設工事における入札については、適正化を推進するとともに、最低制限価格の更なる引き上げを検討すること。

環境部
分散型エネルギーの普及拡大を図るとともに、VPP（仮想発電所）の構築に向けた取組を検討すること。

保健医療部
感染症指定医療機関の見直しの検討も含め、感染症対策の更なる体制強化を図ること。

県土整備部
地域建設業の経営の安定化を図るため、施工時期の平準化を推進するとともに、市町村への周知に努めること。

建設現場における労働環境の改善について、週休2日制モデル工事などの積極的な導入を図るとともに、市町村への周知に努めること。

企業局
県内企業の育成及び災害対策の観点から、公共工事の実施にあたっては、県内企業の更なる受注機会の拡大に努めること。

病院局
県立がんセンターにおいて、合併症対策のための診療体制確保の検討を進めること。

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

埼玉県庁 公明党控室
〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL048-822-9606 FAX048-822-9408

自宅事務所
〒350-0015 埼玉県川越市今泉88-14
TEL049-236-2566 FAX048-611-7393

24時間365日対応
新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター
0570-783-770 FAX 048-830-4808
● 心配な症状が出た時の対応、予防に関することなどの相談窓口です。

埼玉県LINE公式アカウント
埼玉県新型コロナ対策パーソナルサポート

YouTube
埼玉県議会公明党オンラインニュース

深谷けんじホームページ